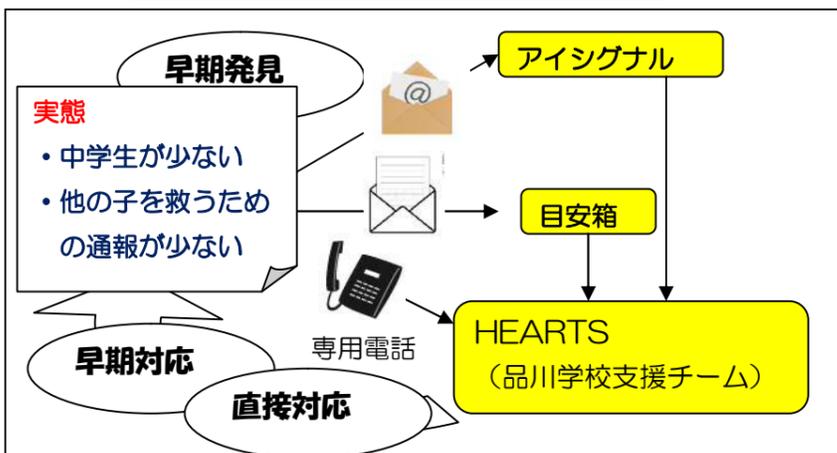


いじめ防止対策の現状と課題

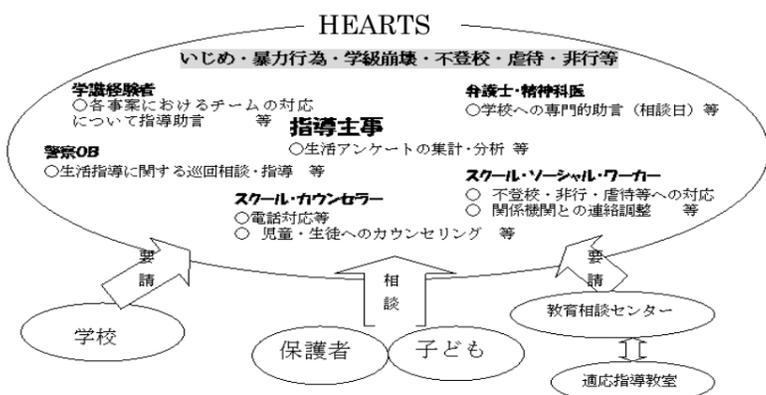
平成25年度新規を継続

いじめられている子どもへの支援



HEARTS (品川学校支援チーム)

○いじめをはじめとする、不登校や虐待等、学校だけでは解決が困難なケースに対して、チームによる支援により早期解決を図る。



【主な通常業務】

- いじめに関する相談への対応
- 目安箱の確認及び対応
- アイシグナルへの対応
- 不登校、虐待、非行等へ対応
- 関係諸機関との連携調整
- 生活指導に関する巡回相談・指導
- 学校へ専門的助言
- 学校訪問による情報収集
- 生活アンケートの集計、分析に基づく学校への指導等

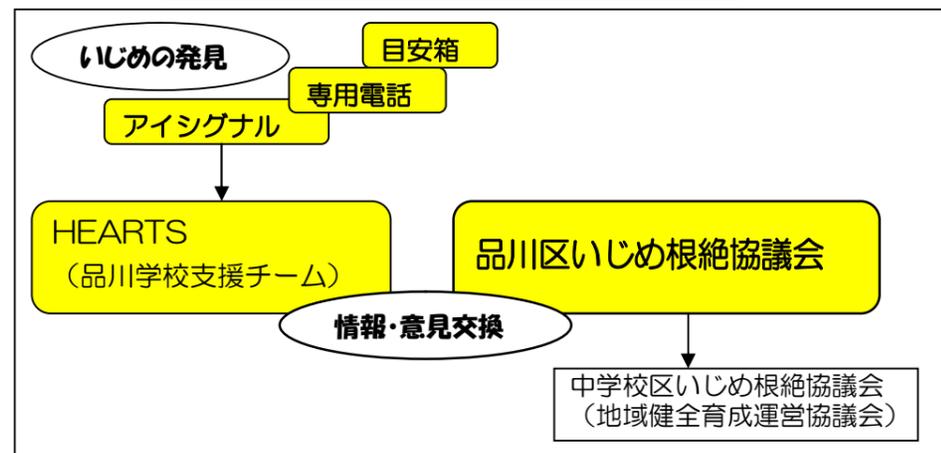
目安箱

- 「HEARTS (品川学校支援チーム)」へのホットラインの一つ
- ・全学校に目安箱を設置し、いじめの被害、いじめに関する情報を収集、早期対応を図る。
- ・回収は、教育委員会が行う。平成25年度は679件の投函

アイシグナル (いじめ早期発見システム)

- アイシグナル (いじめ早期発見支援システム) を中学校で継続
- 平成25年度は9件の報告

地域・保護者による支援体制の構築



品川区いじめ根絶協議会 (年3回)

【設置の趣旨】

いじめの防止および早期発見・解決のために学校・家庭・地域・関係機関との連携を強化し、品川区におけるいじめ問題の解決に資する。

【委員】

- 有識者4名 (専門家・大学教授等)
- 地域代表9名 (品川区町会連合会1・地区委員1・民生委員1・主任児童委員1・保護司1・商店街連合会1・人権擁護委員1・PTA保護者2)
- 関係官公署6名 (児童相談所1・警察署4・大森少年センター1)
- 区教委5名 (教育長・校長会長・校長会副会長・校長会健全育成担当等2)

【平成25年度実績】

平成25年度は、「大人が子どもたちにできること」をテーマに協議を重ね、家庭・地域・行政機関・学校が取組むべきことを区民へのメッセージとしてまとめた。(リーフレット)

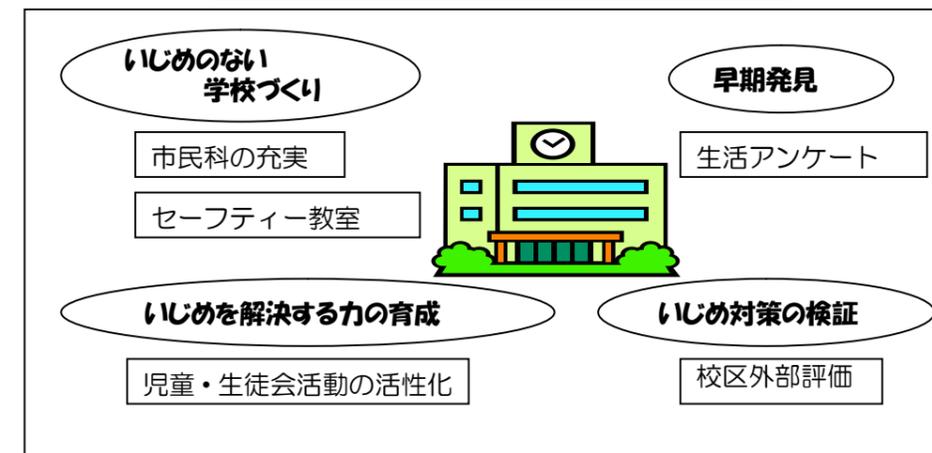
【平成26年度予定】

リーフレットを各家庭や地域等へ配布
様々な対策に関する成果と課題の確認、見直しについて協議

課題

○スマートフォンを使用した「いじめ」

学校の対応



スクールバディ・プログラム (モデル実施2年目)

- 「いじめ防止プログラム」をモデル校でモデル実施
- 児童・生徒自らが主体となり、支え合いのシステムを作ることにより、いじめを未然に防ぐなど校内の問題解決に自ら取り組む児童・生徒の育成
- 【内容】
- ① ワークショップ
いじめをなくそうとする意識と行動化する意欲を高める。
- ② スクールバディ・トレーニング
スクールバディ活動による自治組織を創設する。

中学生のCAP (モデル実施2年目)

- 小学校(3, 5年)で実施の子どもへの暴力防止対策(CAP)をモデル校で中学生対象に実施(自らの権利を守る生徒を育成)

学級診断アセスメント (全7年生 + 希望校に拡充)

- 学級診断アセスメント(全7年生に学級風土調査・希望校に hyper-QU)
- ・学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足感、対人関係スキル等を測定することにより、いじめなどの侵害行為を受けている児童・生徒の早期発見、防止を図る。

いじめ根絶宣言 (児童生徒会役員懇談会に全校から参加、協議)

- 品川区の全公立学校におけるいじめ根絶に向けた決意表明
- ・教育委員会制定(平成25年9月24日)と各校の独自宣言
- ・児童生徒会役員が集まり(2月の第3土曜日に毎年実施)

小中一貫の日 (小中学校間での情報共有を充実)

- いじめ根絶のために「小中一貫の日」を設定(年3回)
- 6月: 全小学校教員による中学校の授業参観及び中学生に関する情報交換
- 11月: 全教職員対象のいじめ防止研修
- 2月: 全中学校教員による小学校の授業参観及び小学生に関する情報交換